

第118号
平成29年2月15日

《発行》
公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
TEL 042-1581-8171

会員アンケート 集計結果ができました

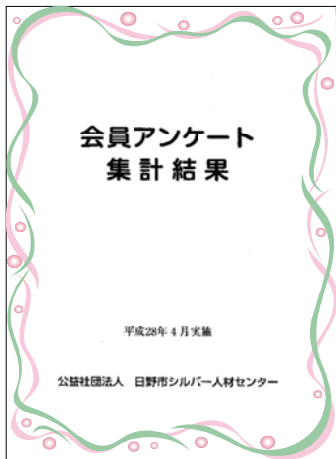
記述式を中心にまとめ ダイジェスト版を全会員に 配付、本紙3月号と共に

お待たせしました。会員の皆様にご協力いただき、昨年3～4月に実施した会員アンケート調査については、本紙11月号で途中経過をお知らせしましたが、ようやくまとめが出来ました。会員アンケートは9年ぶりの実施です。今回の調査では、可能な限り会員の「本音」を引き出し、当センターの事業運営に反映したいとの思いから、前回にはなかった

記述式の設問を多く取り入れました。おかげで皆様からは、予想をはるかに超える多数のご意見・ご要望をいただきました。そのため集計作業の大半は、個々の声を集約し分類する手作業となり、担当の総務委員会が総力を挙げて取り組み、各委員会からの応援も得ましたが、予想以上の時間を要しました。

A4判18ページの冊子に

この集計結果は、皆様のご意見・ご要望をすべて盛り込み、全体でA4判60～70ページにのびります。これをダイジェスト版にして、皆様に読みやすいように、18ページ



会員数

平成28年12月31日
計 1,707名
男性 1,229名
女性 478名
12月入会者20名
(男15名、女5名)
12月退会者16名
(男9名、女7名)

の冊子(上図参照)にまとめました。内容は、今後のセンター運営に活用しやすい編集になっています。皆様へはダイジェスト版を、本紙3月号と共にお届けします。会員の声すべてを折り込んだ「完全版」はセンターに保管し、ホームページでも閲覧できるように検討中です。(総務委員会)

会員数1700名台を維持

当センターの会員数は昨年11月、1703名となり、月別で平成26年2月(同じく1703名)以来、2年9カ月ぶりに1700名台を回復しました。その後も右欄に見るように12月で1707名、2月1日現在1703名と1700名台を維持しています。

とくに女性会員は、昨年度末の407名から12月478名へと11名増。会員総数に占める構成比も昨年度末の26.5%から12月には28.0%に伸びています。

会員の楯まゆみさん ひの煉瓦ホールで演奏

1月28日(土)に開催されたひの煉瓦ホールロビーでの「お昼のミニコンサート」に、当センター会員の楯まゆみさん(南が丘・南平台)が出演しました。このミニコンサートは「100歳のピアノによる」が看板で、寄贈された100歳のピアノが主人公。

今回は、ピアノ奏者の楯さんがまず抒情曲を独奏、次いで友人の琴奏者とのペアで宮城道雄「春の海」その他を合奏しました。



琴に併せ「100歳のピアノ」を弾く楯さん

「今回4ページ建て」

第3四半期までの事業実績(累計)

契約金額累計3・6%増、月別では前年比マイナスに

今年度第3四半期まで(4~12月)の当センターの事業実績は、契約金額累計で5億592万円、前年度同期比3・6%増でした。しかし月別では、前年同月比10月11・4%減、11月10・7%減、12月10・5%減と、10月以降いずれもマイナスでした。その影響で累計の伸び率が上半期の5・9%より鈍化しました。

鈍化の原因分析はまだこれからですが、放置自転車指導誘導、駐輪場関係および独自事業(教室事業、リサイクル事業)での減少が挙げられています。

派遣事業は計7件、半年間で231万円

他方、昨年7月開始の派遣事業は、本紙12月号で紹介した実績(11月までで5事業所10名、契約高累計176万円)は、12月までの半年間で7事業所12名、231万円に伸びました。業種で増えたのは訪問介護、入浴介護です。

平成28年度 後期地域班会議終わる 平均参加率37% 適正就業の周知徹底に努力

平成28年度後期地域班会議は、1月29日の旭が丘2班(宮古和則班長)の会議で全36班がすべて終了しました。平均参加率は37・0%(昨年度は32・7%)で、例年になく高い率を記録しました。

今回は、厚生労働省の要請を受けて、適正就業ガイドラインについての説明が各担当理事によって行われ、各班はその周知徹底に努力しました。多くの班で会議参加者が増えたのは、班長さんたちの呼びかけ努力の成果です。



列を埋める女性会員(新町班=H29.1.14)

例年、後期地域班会議では懇親会を兼ねるケースが多々ありますが、今回もカラオケや工場見学、昼食会等、さまざまな形で懇親会が行われました。

全地域班中、最大の班員数73名(男41、女32)を擁する新町班(吉野久忠班長)は、1月14日に班会議を開催。出席者34名中、女性は4割以上の14名。2列席の右側全部を占め、壮観でした。男性陣の間では「わが新町班からぜひ女性地域班長を出そう」との声が上がっていました。

いきいき祭りで作品展

5月27日開催の第2回シルバークいいきき祭りでは、新企画として写真・絵画・手工芸品等を展示する「会員作品展コーナー」を設けます。詳細は本紙3月号で。

理事・監事推薦委の一部変更

理事・監事推薦委員会のメンバーのうち、次の変更がありました。

■広報委員会選出委員

田中政寿→今村 優

理事会二ユース

★第10回理事会 1月30日

・審議事項 ①正会員の入会(16名承認、2月1日10名、4月1日6名入会)、②理事及び監事推薦委員の変更

・報告事項 ①平成28年度における代表理事、業務執行理事の職務執行状況、②平成28年度事業実績(12月まで) ③契約金額累計5億592万円(前年度比3・6%増)、④平成28年度予算執行状況(12月末)、⑤各委員会の活動状況(3面参照)

「センター行事日程」

●3月15日(水) 第3回地域班長会議 生活・保健センター

「各委員会の補充人事」

●安全管理委員会1名(計10名)
・高島謙治 日野台2班
(ただし、稲毛良司委員は辞任)

配分金の支払日

2月20日(月)
3月17日(金)
4月20日(水)
5月19日(金)
6月20日(火)
7月20日(水)
8月18日(金)
9月20日(水)

町田市SC共助会

(センター内自主運営組織)

会員相互の交流・親睦、
各種サークル活動、発表
会、イベント等を実施

～総務委員会が視察～

総務委員会の賀来委員長、岡村副委員長、大内会員および事務局の岡主任から成る当センター視察団は昨年12月14日、町田市SCの「共助会」を視察しました。先方では、花上事務局長および共助会の松田幹事長、新井副幹事長が応対されました。

共助会とは、センター内自主運営組織で、いわば互助会的存在。構成員は600名で、町田市SC全会員の約2割の規模。その内訳は会員有志510名と会員OB90名。つまり、退会した元会員がOBとして協力しているところに特徴があります。



町田市シルバー人材センターの入口

先方の説明によると、共助会は平成12年にセンター業務から分離して自主運営組織に移行。その活動内容は、会員相互の親睦・交流、福利厚生、SCおよび市の事業への協力、各種サークル活動への援助、発表会・イベント等の実施、ボランティアの派遣、等々と多岐にわたっています。

視察後、賀来委員長は次のように感想を語りました。

「いま総務委員会が進めている会員交流促進のため、町田市SCの先進的な活動についてお聞きした。組織形態は別だが、参考になることは大いに取り込みたい」

平成29年1月度 各委員会の活動

【総務委員会】

5日開催。①会員アンケートまとめ作業継続、ダイジェスト版作成を決定②会員相互の交流会推進プロジェクトチームの活動検討(町田市SCの視察を踏まえて)

【事業委員会】

26日開催。①就業内容と応募状況、12月事業実績の検討②新規事業取り組み、進捗状況③サロン事業、買い物代行、スマホ教室③会員所有資格の事業への活用。

【業務委員会】

12日開催。①就業案内と応募状況、11月実績報告②職群班事業の拡大と問題点の改善(パソコン班)③ガイドブック作成対象の職群班・職場G④今後の課題検討。

【地域委員会】

5日開催。①地域班ブロック長会議の位置づけ②班の会員構成について(他のSCを参考に)③地域班長への支援④地域班会議テーマの検討⑤ボランティア活動。

【女性委員会】

11、25日開催。①パステル画事前講習の実施②屋外交流会ぶ

らり散歩・府中郷土の森」下見③女性委員会便り第6号の紙面作り④次年度活動計画打合せ。

【安全管理委員会】

6日開催。①委員1名交代で委嘱状交付②傷害事故1件、状況を討議③平成29年度安全対策基本計画及び実施計画の策定を検討④刈払機飛び石防止講習。

【広報委員会】

6日開催。①月刊さわやか1月号の確認②月刊さわやか2月号紙面計画の策定③対外広報グループ下期の活動④全国SCの会員数の動向について討議。

それってなに?

会員アンケート調査

当センターが総務委員会主催で全会員を対象に行ったアンケート調査。昨年3～4月に9年ぶりに実施。718名の方から回答をいただきました。目的は、この間のセンターを取り巻く状況の変化による会員皆様の多面的な意向の実態把握。できるだけリアルに把握するため、選択式のほか記述式の設問も設けました。その結果、集計に手間取りましたが、膨大なご意見・ご要望を集約できました。今後のセンター運営に活用していきます。

都SC連合の安全就業パトロール指導員

当センターを巡回指導 清掃現場を視察

東京しごと財団(東京都SC連合)の安全就業パトロール指導員・丸山眞弘氏による、毎年恒例の当センターへの巡回指導が1月18日行われました。実施内容は、午前Ⅱ就業現場視察、午後Ⅱ調査票に基づくヒアリング。

就業現場の視察は、神明3丁目のマンショングリーンコープ日野での清掃作業。5棟を擁する大きなマンションで敷地も広い。就業者3名のうち2名がローテーションで作業に付きます。丸山指導員は次の点を指導されました。

●ガラスの引き戸等、高い所の掃除はパイプいすに乗ってやっているが、長い柄のモップを使用してはどうか。

●敷地内にある大きな溝のような所の掃除は危険が伴い易いのでとくに気を付けるように。

120cm超年齢制限に注目

午後のヒアリングでは、3時間 にわたる詳細なチェック調査の中

〔平成28年度安全標語優秀作〕

安全の隣に事故の手が伸びる 新藤 誠一(多摩平2)

で、とくに次の2点が注目されました。

①当センターが今年1月1日に施行した、地上ないし床上120cmを超える高所作業での75歳年齢制限。一般に年齢制限は個別作業に課せられているが、高所作業全般への制限は珍しい。

②諸作業の道具箱の点検はなされていないが、記録が残されていない。チェックリスト等の点検記録を残すようにしたい。

傷害事故発生 今年度4件目

昨年12月8日午前、特別支援学校の交通安全業務中であった男性会員(78)は、転倒して頭部を強打。道路上に倒れていたのを通行人が発見し、救急車で病院に搬送されました。約3週間の入院後に退院し、現在も治療中。

この結果、当センターの今年度事故件数は傷害4件、賠償3件の計7件となりました。

冬期職場安全巡回続く

今年度の冬期職場安全巡回については前号で一覽表を掲載しました。巡回対象は計11件。うちクリーンセンターは全委員による視察、すでに終了(前々号で紹介)。残る10件を目下巡回中です。

内訳は公園3件、植木班2件、除草班1件、民間マンション・アパート4件(写真はその1件)。今年度から各件につき、安全管理委員2名がペアで回っています。



民間アパートを清掃中の女性会員

川柳あれこれ

高橋 陽子

毎週水曜日午後4時TBSラジオ「荒川強啓デイクヤツチ」の時事川柳を楽しんでいます。伝説の報道記者「近藤勝重氏を家元に5人の選者が10点満点で採点をし、5作品をとりあげ、トップ賞に賞金を授与するしくみです。

1月25日(水)は 太鼓持ち「まっ! 大統領」が死語になる「がトップになり、横綱もジャパンファースト主義なのか」(日野市住人作)が次点になりました。

私は2010年8月27日から12月17日まで中央公民館高幡台分室主催川柳入門講座で全日本川柳協合理事竹本瓢太郎氏に指導を受け、最終日のコンテストで 町おこしB級「グルメ花ざかり」の一句で一番になり、師の著書をいただきました。

時々、指おり数えて川柳を考えています。共謀罪もう川柳は作れない(1・18時事川柳)、手と足をもいだ丸太にしてかえし——戦前治安維持法違反で特高にとらえられ29歳で死亡した鶴彬(つる・あきら)の生き世のようにならないように、と思っている今日この頃です。(日野4班)

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先 市健康課、保険年金課